

○阿波森林公園条例

平成17年6月29日

津山市条例第113号

改正 平成19年3月22日条例第20号

平成25年12月25日条例第59号

(目的及び設置)

第1条 落合川河畔の自然環境を生かして、青少年及び家族が野外活動、レクリエーション等の体験に親しみ、もって心身の健全な育成と健康の増進に資するため、阿波森林公園(以下「森林公園」という。)を設置する。

(位置)

第2条 森林公園は、津山市阿波地内に置く。

(森林公園の管理)

第3条 森林公園の管理は、津山市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例(平成17年津山市条例第100号。以下「指定手続等条例」という。)に基づき、市長が指定する法人その他の団体(以下「指定管理者」という。)にこれを行わせることができる。

(指定管理者が行う業務)

第4条 前条により指定管理者が管理を行う場合、指定管理者は、次の各号に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 森林公園の施設又は設備の利用の許可に関する業務
- (2) 森林公園の維持管理に関する業務
- (3) 森林公園の利用に関する料金(以下「利用料金」という。)の徴収に関する業務
- (4) 森林公園の設置目的を発揮するための事業に関する業務
- (5) 森林公園の利用者の利便性を向上させるために必要な業務
- (6) 前各号に掲げるもののほか、森林公園の運営に関する事務のうち、市長のみが行うことのできる権限に関する事務を除く業務

(指定管理者の権限)

第5条 指定管理者は、指定が効力を有する間、次条から第8条まで、第10条、第11条、第13条及び第15条に規定する市長の権限を行うものとする。ただし、指定手続等条例第7条第1項の規定により、管理の業務の全部又は一部の停止を命ぜられた期間における当該停止を命ぜられた業務に係るものを除く。

(開園期間)

第6条 森林公園の開園期間は、通年とする。ただし、市長が特に必要と認めるときは、これを変更することができる。

(利用の許可)

第7条 森林公園を利用しようとする者は、あらかじめ市長の許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

2 市長は、前項の許可をする場合において、森林公園の管理上必要な範囲内で条件を付することができる。

3 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、第1項の許可をしない。

(1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあると認めるとき。

(2) 森林公園の施設又は設備若しくは器具（以下「施設等」という。）を毀損し、汚損し、又は滅失するおそれがあると認めるとき。

(3) 前2号に掲げるもののほか、森林公園の管理上支障があると認めるとき。

(利用料金)

第8条 利用の許可を受けた者（以下「利用者」という。）は、別表第1の規定により算定した額の利用料金を納付しなければならない。

2 前項の利用料金は、森林公園の利用日までに納付しなければならない。ただし、市長が特に必要と認めるときは、この限りでない。

(利用料金の収入等)

第9条 市長は、森林公園の管理を第3条の規定により指定管理者に行わせる場合において、適当と認めるときは、指定管理者に森林公園の利用料金を当該指定管理者の収入として收受させることができる。

2 前項の場合において、利用料金は、前条の規定にかかわらず別表第1に掲げる額の範囲内において、指定管理者があらかじめ市長の承認を得て定めるものとする。

3 指定管理者は、前項の承認を受ける場合においては、あらかじめ、利用料金の額の案を作成し、市長に承認を申請するものとする。

4 指定管理者は、前項により利用料金を定めたときは、直ちに公表するとともに、森林公園において利用者の見やすい場所に掲示しなければならない。

(利用料金の減免)

第10条 市長は、特別の事由があると認めるときは、利用料金を免除し、又は減額することができる。

(利用料金の不還付)

第11条 既納の利用料金は、還付しない。ただし、市長が、特別の事由があると認めるときは、この限りでない。

(利用権の譲渡等の禁止)

第12条 利用者は、森林公園を利用する権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(利用許可の取消し等)

第13条 市長は、利用者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、利用者に対して利用を制限し、利用を停止し、又は利用許可を取り消すことができる。

- (1) この条例、この条例に基づく規則又は利用許可の条件に違反したとき。
- (2) 偽りその他不正の手段により利用許可を受けたとき。
- (3) 第7条第3項各号のいずれかに該当することとなったとき。

2 前項の処分によって、利用者に損害が生ずることがあっても、市はその責めを負わない。

(禁止行為)

第14条 利用者その他の森林公園を利用する者（以下「利用者等」という。）は、次の各号に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 許可なくして行う募金その他これに類する行為
- (2) 許可なくして行う物品の販売、宣伝、広告その他これらに類する行為
- (3) 前2号に掲げるもののほか、規則で定める行為

(原状回復義務)

第15条 利用者等は、森林公園の利用を終えたときは、直ちに施設等を原状に復さなければならない。第13条第1項の規定により利用許可を取り消されたときも、同様とする。

2 市長は、利用者等が前項の義務を履行しないときは、これを原状に復し、それに要した費用を利用者等から徴収することができる。

(損害賠償)

第16条 利用者等は、施設等を毀損し、汚損し、又は滅失させたときは、市長の指示に基づき、これを原状に復し、又は市長が認定する損害額を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない事由があると認めるときは、この限りでない。

(委任)

第17条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、市長が別に定める。

付 則

この条例は、平成18年4月1日から施行する。

付 則（平成19年3月22日条例第20号）

この条例は、平成19年4月1日から施行する。

付 則（平成25年12月25日条例第59号）

（施行期日）

1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 この条例による改正後の阿波森林公園条例別表第1の規定は、平成26年4月1日以後に利用の許可を受けたものに係る利用料金の算定について適用し、同日前に利用の許可を受けたものに係る利用料金の算定については、なお従前の例による。

別表第1（第8条・第9条関係）

区分			金額
バンガロー	1棟につき	1泊	12,340円
		休憩1時間につき	1,330円
テントサイト	1区画につき	1泊	2,570円
		休憩	1,540円

備考 宿泊の利用時間は、15時から翌日の10時までとし、休憩の利用時間は、11時から17時までとする。